

教材事例書式

教材教具名 さつまのおいも	教科（国語）	情報提供者（小学部1年生）
教材教具写真		
教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
1 ねらい	「さつまのおいも」の絵本を見聞きし、おいもどんを呼んだり、かけ声をかけながらおいもどんと綱引きをしたりすることを楽しむ。	
2 発達段階など	本校の発達段階指導内容表国語科において、「Ⅰ笑顔での交流が育つ時期」～「Ⅲ話しことばを獲得する時期」における児童を対象とした。	
3 使い方	絵本「さつまのおいも」の読み聞かせをした後、児童と教師と一緒に「おーい」と呼んで発声を促す。その後、登場したおいもどんと児童が綱引きをする。	
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）		
<p>絵本の読み聞かせを楽しんだ後、実際においもどんが登場することで、児童の期待感もさらに高まっていったように感じた。さらに、おいもどんを登場させる際に、全員で「おーい」と何度も呼びかけることにした。すると、発声を引き出すことが難しい児童も楽しい雰囲気の中で声が出たり口元が動いたりするようになってきた。絵本の一場面を実際に自分たちで動作化してみることで、話の内容の理解がさらに深まったのではないかと感じた。</p>		